

内装用

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	2402021
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

MK PLASTER+

アク・シミ止め機能付き 内装用下地処理材
MKプラスター プラス
しっくい仕上げ用推奨下地材



〈特徴〉
優れた施工性

非石膏系で、特殊粉末樹脂を使用した一材型タイプであり、施工性に優れる。

優れたアク・シミ止め機能

独自技術により優れたアク・シミ止め機能を付与。

幅広い下地に対応

特殊粉末樹脂により高い付着力を発揮し、広範な下地に付着する。

〈適応下地〉


石膏ボード、セメントモルタル、コンクリート、古壁(既存しっくい壁など)、ビニルクロス

*やむを得ず一部合板を使用している箇所に施工する際は耐水合板を使用し、アク・シミ止めシーラーを塗布した上でご使用ください。

- 〈使用上の注意〉
- 練り水は、清水を用いてください。
 - 施工後、気温5℃以下になる恐れがある場合は施工を避けてください。
 - 直射日光の当たる場所、湿気の高いところでの保管は避けてください。
 - 可使用時間を過ぎてから水を加えて練り返すと強度低下の原因になります。
 - 取扱いの際は適切な保護具(ゴム手袋・保護メガネ・マスク等)を着用してください。

- 〈応急処置〉
- 目に入った場合……直ちに清浄な流水で20分以上徹底的に洗浄し、速やかに医師の診断を受けてください。
 - 飲み込んだ場合……直ちに清浄な水で口の中を洗浄し、速やかに医師の診断を受けてください。
 - 皮膚に付着した場合……汚染された衣類を脱ぎ、直ちに清浄な流水でよく洗浄し、ハンドクリーム等でケアしてください。

〈特約代理店〉

 創業安政元年
村櫛石灰工業株式会社

〈建材事業部〉
〒327-0509 栃木県佐野市宮下町1-10
tel 0283-86-3677 fax 0283-86-4118
kenzai@murakashi.co.jp
https://www.murakashi.co.jp/


創業安政元年
村櫛石灰工業株式会社

練り方



1 プラスチック容器に、標準加水量の80%程度(約1.1リットル)の水を入れてください。

〈標準仕様〉

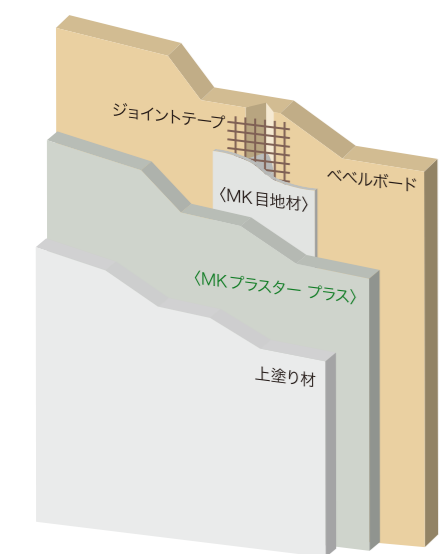
名称	MK プラスター プラス
正味重量	4.0kg/袋
標準加水量	約1.4リットル



2 〈MK プラスター プラス〉4kg/袋を入れ、ダマが無くなるまでよく練り合わせてください。十分に練り合わせたら、軟らかくなりすぎないように残りの水(0.3リットル)を加えて練り上げてください。

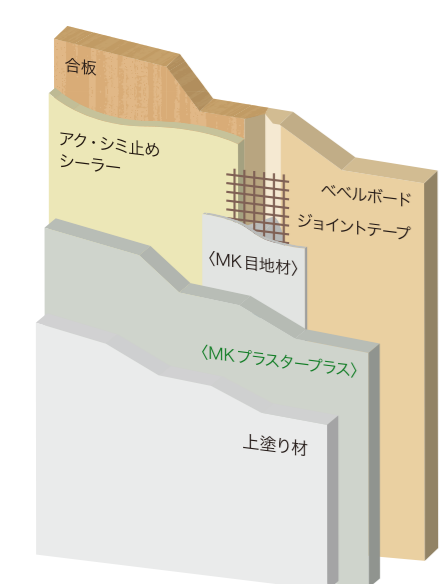
標準施工面積	3.3m ² (1坪)
標準塗り厚	約1.0mm (厚付けする分には問題ありません)
荷姿	4.0kg×5袋/箱

施工手順



石膏ボード下地

- 1 専用ビスで十分固定されていることを確認してください。
- 2 ボードジョイント部に〈MK 目地材〉を埋め込み、余分な量はかき取ってください。
- 3 埋め込んだ目地材の上からジョイントテープを貼り付けてください。
- 4 目地材乾燥後、〈MK プラスター プラス〉を約1mmの厚さで全面に塗り付け、平滑に仕上げてください。
- 5 上塗り材を所定の厚みで全面に塗り付け仕上げてください。



石膏ボード+合板下地

- 1 合板のアクが強い場合、アクが止まらない可能性がありますのでアク・シミ止めシーラーを合板全面に塗布してください。また構造用合板への施工は避けてください。
- 2 ジョイント部に固練りした〈MK 目地材〉を埋め込み、余分な量はかき取ってください。
- 3 埋め込んだ目地材の上からジョイントテープを貼り付けてください。
- 4 目地材乾燥後、〈MK プラスター プラス〉を約1mmの厚さで全面に塗り付け、平滑に仕上げてください。
- 5 上塗り材を所定の厚みで全面に塗り付け仕上げてください。

コンクリート・セメントモルタル下地

- 1 レイタンス・ジャンカ・不陸・クラック等が無いことを確認してください。もしある場合は市販の補修材等で調整してください。
- 2 下地の表面がドライアウトしている場合には〈フジプライマー F45〉などの吸水調整用シーラーをムラの無いように全面に塗布してください。
- 3 〈MK プラスター プラス〉を約1mmの厚さで全面に塗り付け、平滑に仕上げてください。
- 4 上塗り材を所定の厚みで全面に塗り付け仕上げてください。



※〈MK プラスター プラス〉は外装では使用できません。
※〈フジプライマーF45〉は村礮石灰の商品です。

古壁(既存しっくい壁など)下地

※施工前に必ず施工要領書をご確認ください。施工要領書は当社HP等から入手してください。

- 1 古壁の状態を確認してください。
 - ・既存古壁に十分な強度があること、剥がれ、浮きのないこと、カビ、漏水によるシミのないことを確認してください。
 - ・古壁が木粉を含む場合にはアク・シミ止めシーラーを塗布した後施工してください。
 - ・表面についた埃、軽度な汚れは刷毛やブラシなどで落としてください。
 - ・劣化・汚れが著しい古壁の場合は古壁を除去して施工してください。
- 2 〈MK プラスター プラス〉を約1mmの厚さで全面に塗り付け、平滑に仕上げてください。
 - ・クラックが発生している場合には全面に寒冷紗を貼り付けてください。
- 3 上塗り材を所定の厚みで全面に塗り付け仕上げてください。



ビニルクロス下地

※施工前に必ず施工要領書をご確認ください。施工要領書は当社HP等から入手してください。

- 1 クロスの状態を確認してください。
 - ・クロス面に付いた埃はハケやブラシで落としてください。
 - ・汚れている箇所は中性洗剤で拭き掃除を行ってください。クロスの表面にカビが発生している場合は、石膏ボードまでカビが及んでいる可能性が高いため施工できません。
 - ・可塑剤が抜けて劣化し、パリパリになっているクロスには施工できません。
 - ・紙クロスのような吸水性のクロスは接着不良を起こす可能性が高いため施工は避けてください。
 - ・はっ水加工のクロスには施工できません。
- 2 クロスの浮き・剥がれのある箇所はカッターで除去し、補強のためグラスファイバーテープを貼ります。クロスの継ぎ目へも、補強のためグラスファイバーテープを貼る、タッカー止めなどをしてください。
- 3 〈MK プラスター プラス〉を約1mmの厚さで全面に塗り付け、平滑に仕上げてください。
- 4 上塗り材を所定の厚みで全面に塗り付け仕上げてください。

